

令和5年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：市民総合体育館及び市内各体育施設

指定管理者名：河内長野S S Kクリーン工房共同事業体

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	S	S
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	35,500,000	35,530,750	-30,750	34,994,375	
	自主事業収入	7,500,000	6,977,796	522,204	7,013,245	
	物品販売収入	500,000	349,732	150,268	409,963	
	指定管理料	72,000,000	72,000,000	0	72,000,000	
	その他収入	3,200,000	5,405,083	-2,205,083	6,384,641	
	収入総額	118,700,000	120,263,361	-1,563,361	120,802,224	
支出	人件費	37,200,000	37,833,787	-633,787	36,974,136	
	事務費	2,200,000	2,076,768	123,232	2,544,713	
	管理費	42,500,000	43,900,305	-1,400,305	42,270,603	
	自主事業経費	6,475,000	5,804,682	670,318	5,651,312	
	光熱水費	20,000,000	18,171,302	1,828,698	20,151,889	
	リース料	600,000	531,564	68,436	554,004	
	その他	8,225,000	11,829,120	-3,604,120	11,770,571	
	支出総額	117,200,000	120,147,528	-2,947,528	119,917,228	
収支差額		1,500,000	115,833	1,384,167	884,996	

3. 総合評価

自己評価

令和5年度においては、コロナも収まりつつある中、逆にインフルエンザ等が流行し、引き続きアルコール消毒液や空気清浄機、サーキュレーターを各施設、各必要な場所に設置し、感染症拡大防止に努めました。また、スタッフによる日々の除菌作業、屋内施設利用者の人数制限など、ご利用者の方々に安全・安心に施設をご利用いただけるよう徹しました。1年を通して、特に、体育館の個人利用では、トレーニング室は徐々にコロナ前に戻りつつあり、パワー系のトレーナーを採用した効果もあり、夜の若者が増えてきました。その反面、卓球室利用者はほぼメンバーが変わらず、ご高齢の方が中心であり、新しいメンバーが増えず、自然減の状態になりつつあります。また、支出の面に関しては、令和4年度から続く、物価高騰への影響、人件費の増額、光熱水費の高騰など収益を大きく圧迫し、大変厳しい1年となりました。利用サービスの一環としては、引き続き体育館にデジタルサイネージを設置することにより、本日の利用団体やスクール案内など、日々ご利用者の方々に最新の情報発信を行いました。また、体育館設置の券売機には、QRコードによるキャッシュレス化の機能を追加していますが、日々ご利用の方も増えてきており、ご利用者の方からも大変便利になったとお声をいただいております。その他、自分の身体を知る上で、常時インボディー体組成計を設置し、健康に対する意識を高めていただきました。また、スポーツ推進委員さまとも連携し、体力測定会に貸し出しをおこなうなど、体力づくりの促進に貢献し、市民の皆様大変喜んでいただきました。屋外施設の維持管理面では、営繕スタッフが、年間100件以上の補修・修理、グラウンド整備・整頓、木々の伐採・剪定・処理等を行いました。特に、市からご連絡いただいた案件や、利用者の方々からいただいたクレーム・要望等は速やかに対応しております。特に、今年度は寺ヶ池庭球場利用者の念願であった男子更衣室を改修いたしました。紆余曲折ありましたが、ご利用者には喜んでいただきました。ただ、全体的に施設が老朽化しており、修繕だけでは対応しきれないケースもでてきており、今後大きな懸念材料です。今後も引き続き、市民の皆様の安全・安心を最優先し、市民の皆様から喜んでいただける施設を目指してまいります。

市評価

令和5年度は、河内長野SSKクリーン工房共同事業体による指定管理業務が2期目2年目(計7年目)の年でした。前年度に引き続いて、午後9時までの窓口受付の対応を行っていただき、パワー系のトレーニング専任スタッフの採用、インボディー体組成計の常時設置、健康意識向上のための自主事業の継続実施等、市内スポーツ施設のイメージアップ及び新規利用者の増加につながる取り組みを数多く実施いただき、大きく評価しています。特に新型コロナウイルス感染症防止対策のノウハウを活かして、インフルエンザ感染対策にも努めていただき、コロナが第5類に移行した後も、利用者が安心して施設を利用できるよう、引き続き、適切な施設の管理運営に努めてくれたと考えています。また、利用サービスの一環として、引き続き体育館にデジタルサイネージを設置していただき、イベント案内など、日々利用者の方々に最新の情報発信を行っていただきました。あわせて、体育館設置の券売機には、QRコードによるキャッシュレス化の機能を追加することで、利用者のさらなる利便性向上に努めてくれました。日常の修繕や管理においても、老朽化した施設の維持管理が難しい状況の中、営繕担当スタッフを中心に、利用者目線で、迅速かつ丁寧に対応していたと認識しています。特に、長年の課題であった寺ヶ池公園庭球場の更衣室修繕業務は、真摯に対応していただき、所管課として深く感謝しております。今後も、施設の管理運営においては、市と随時、情報共有を図りながら、民間企業の特徴を活かしたスポーツ施設の効率的な管理運営を行ってもらうことを期待します。